

東京湾海況情報 26-12

東京湾水質調査結果（平成27年3月）

（平成27年3月10日発行）

千葉県水産総合研究センター
 東京湾漁業研究所
 〒293-0042 富津市小久保3091
 TEL 0439-65-3071
 E-mail futtsu-sokuho@pref.chiba.lg.jp
 千葉県農林水産技術会議

資料 水質調査 3/3：内湾（ふさなみ）、内房海域（ふさみ丸）
 関東・東海海況速報(3/3)、東京湾口海況図(3/3)
 モニタリングポスト(3/3：国土交通省関東地方整備局、海上保安庁)

【 水温・塩分の状況 】

内湾の表層水温(図1)はおおむね9~10℃台で、平年より低めになっています。塩分はほぼ31~32PSU台前半で、平年並みから高めになっています。

縦断面の鉛直分布(図3)では、中央部水深20m以深には塩分34前後の水塊がみれています。

一方、内房海域の表層水温も10~14℃台で、平年より低く、金谷から久里浜を結ぶライン以南の海域では約1℃低めでした。

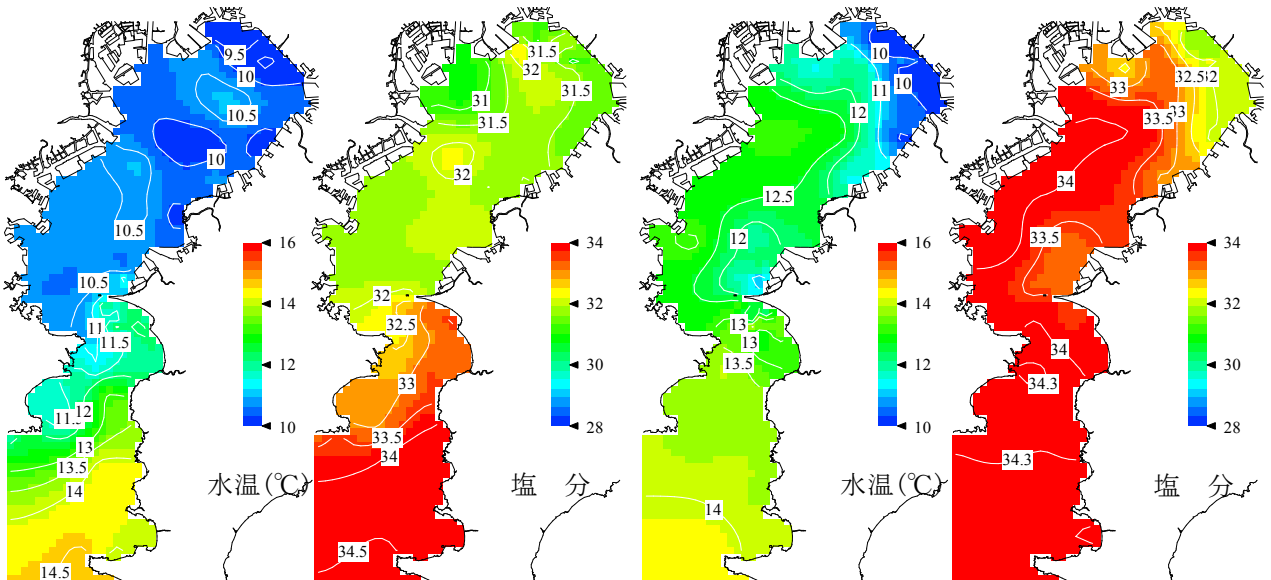


図1 水温・塩分分布（表層）

図2 水温・塩分分布（底層）

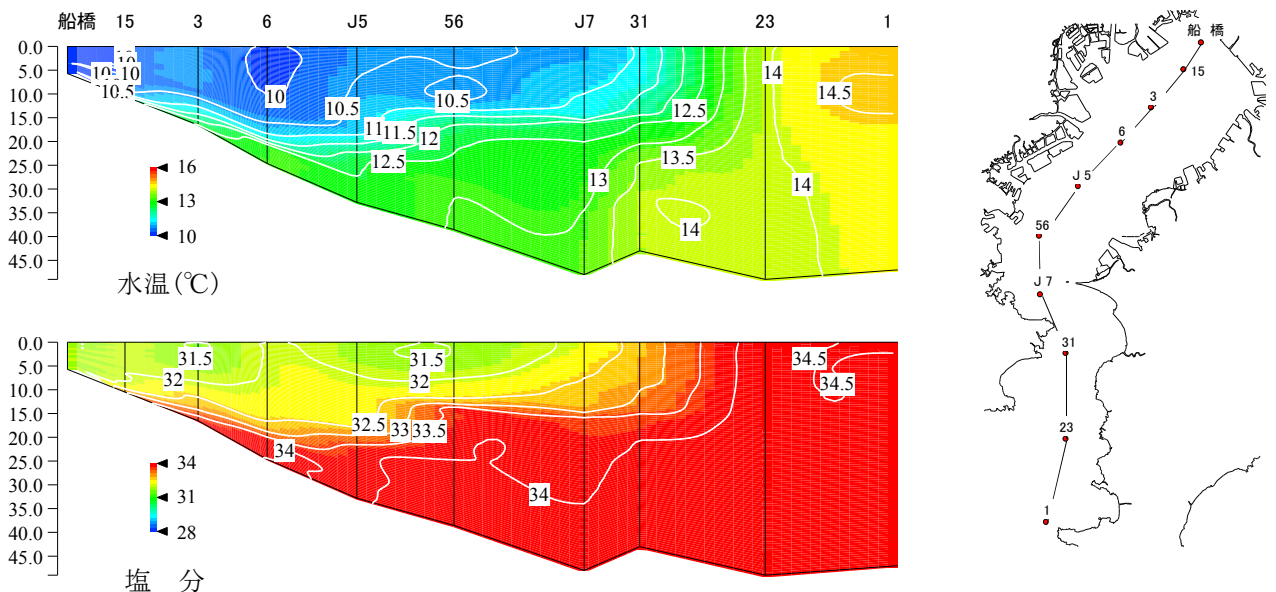


図3 縦断面の水温・塩分の鉛直分布(上：水温、下：塩分、右：調査ライン)

【 赤潮の状況 】

赤潮は全域で発生していませんでした。

プランクトンは先月より少なくなり、ケイ藻のスケルトネマ (*Skeletonema* sp.) やキートケロス (*Cheatocecos socialis*) がみられる程度で、透明度は最も低いところで4m前後あり、水色も緑から黄緑色でした。

保田から富浦にかけての海域ではケイ藻のデイトウレナ (*Detonula pumila*) がみられる程度でした。

これらはいずれも魚貝類に有害な種類ではありません。

※ 千葉県の赤潮の目安は次のとおりです。

色	: オリーブ～褐色
酸素飽和度	: 150%以上
透明度	: 1.5m以下
pH	: 8.5以上
クロロフィルa	: 50 μ g/L以上

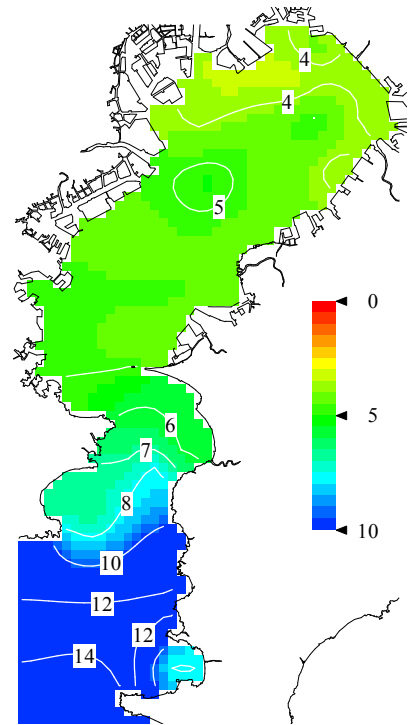


図4 透明度の分布 (m)

【 貧酸素水塊の状況 】

内湾底層部の溶存酸素量(図5, 6)は全域で十分あり、貧酸素水塊は発生していませんでした。

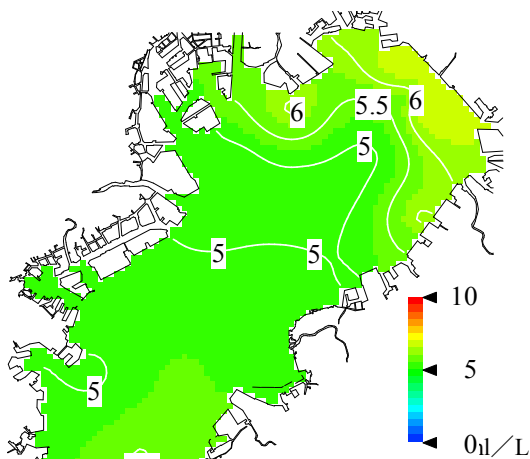


図5 底層部の溶存酸素量の分布 (内湾)

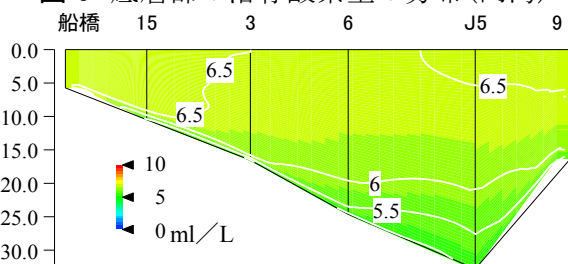


図6 縦断面の溶存酸素量の分布 (内湾)

※ 千葉県水産総合センターでは、溶存酸素量2.5ml/L (酸素飽和度50%) 以下を貧酸素水塊としています。

【 栄養塩の状況 】

湾内の表層栄養塩(図7)は溶存無機態窒素(DIN)がほぼ平年並みからやや多め、リン酸態リン(PO_4-P)は平年並みからやや少なめでした。

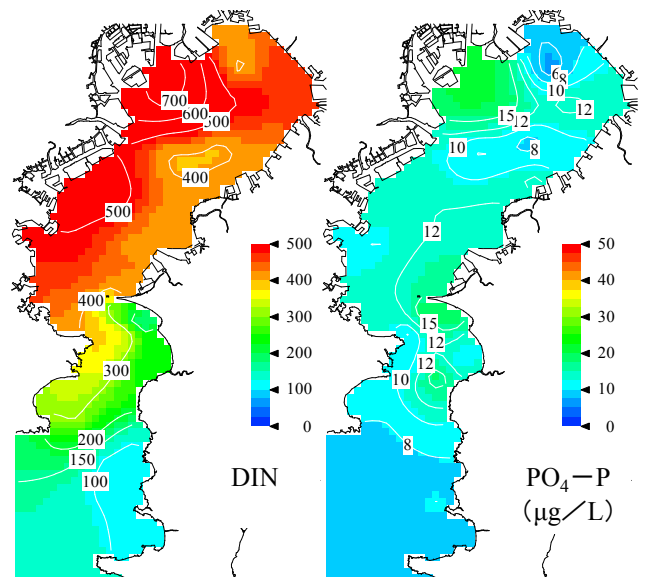


図7 栄養塩濃度の分布 (表層)

【黒潮の状況】

黒潮は2月末ごろからB型基調に変わり、その流軸は3日現在八丈島付近を北上した後、御蔵島付近から房総南東岸を小さく蛇行しながら、東方向へ流れています(図8)。

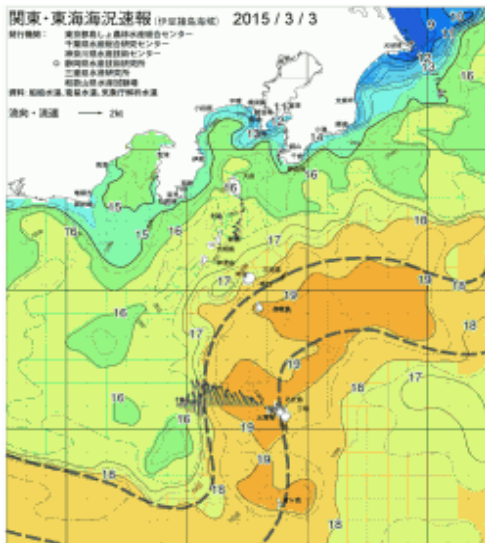


図8 黒潮の動き (平成27年 3月 3日)

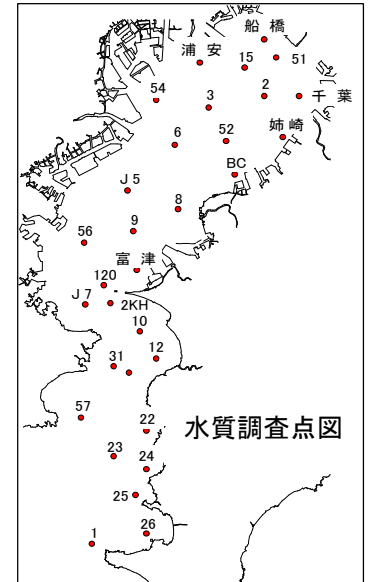


表1 主な調査点の水質調査結果 (表層, 溶存酸素量のみ底層)
(): 最近10年間の平均値 (2005~2014年)

調査点	水温 (°C)	塩分	透明度 (m)	pH	溶存酸素量 (ml/L)	アンモニア態窒素 (µg/L)	溶存無機態窒素 (µg/L)	リン酸態リン (µg/L)	クロロフィルa (µg/L)
内湾	船橋	9.4 (10.7)	31.50 (30.84)	4.3 (3.1)	8.3 (8.4)	9.4 (6.8)	45 (53)	421 (428)	7 (13)
	st.15	10.1 (10.7)	31.93 (30.85)	3.5 (3.5)	8.2 (8.4)	7.6 (6.6)	29 (31)	399 (414)	5 (7)
	st.3	10.4 (10.7)	31.45 (31.00)	4.6 (4.2)	8.2 (8.4)	7.1 (5.8)	113 (28)	584 (439)	15 (6)
	st.6	9.9 (10.5)	32.04 (30.89)	5.3 (4.6)	8.2 (8.4)	7.0 (4.9)	53 (41)	421 (416)	8 (7)
	st.9	10.5 (10.7)	31.96 (31.52)	4.8 (5.2)	8.2 (8.4)	7.6 (6.0)	51 (27)	422 (361)	12 (7)
	st.BC (盤洲Cブイ)	10.5 (11.4)	31.49 (31.51)	4.5 (3.7)	8.2 (8.3)	7.1 (5.8)	68 (50)	420 (388)	13 (12)
	st.8 (盤洲A南)	10.3 (11.1)	31.94 (31.68)	4.7 (4.2)	8.2 (8.3)	7.2 (5.4)	66 (44)	404 (374)	13 (11)
	富津	10.4 (11.3)	31.63 (31.75)	4.5 (4.4)	8.2 (8.2)	7.6 (5.9)	78 (43)	420 (328)	14 (12)
内房海域	st.2KH (第2海ほ下)	11.1 (11.5)	32.68 (32.63)	5.5 (6.5)	8.2 (8.2)		48 (49)	336 (299)	15 (13)
	st.31	11.1 (11.9)	32.70 (32.78)	7.0 (7.9)	8.2 (8.2)		34 (28)	346 (274)	10 (11)
	st.23	13.9 (15.0)	34.33 (34.28)	11.0 (16.5)	8.2 (8.2)		15 (12)	100 (104)	8 (12)
	st.1	14.5 (15.4)	34.50 (34.42)	14.0 (16.7)	8.2 (8.1)		8 (9)	111 (86)	8 (11)
	st.10 (下洲沖)	11.6 (12.6)	33.05 (33.37)	6.0 (7.9)	8.2 (8.2)		41 (25)	297 (210)	14 (11)
	st.12 (湊沖)	11.8 (12.6)	33.27 (33.53)	6.0 (7.3)	8.2 (8.2)		21 (18)	214 (186)	11 (11)
	st.22 (保田沖)	13.6 (15.2)	34.21 (34.38)	11.0 (15.2)	8.2 (8.2)		10 (11)	106 (98)	9 (11)
	st.24 (富山沖)	14.2 (15.3)	34.34 (34.42)	12.0 (15.6)	8.2 (8.1)		7 (8)	83 (86)	7 (11)
	st.26 (館山湾内)	14.1 (15.5)	34.14 (34.36)	8.0 (15.3)	8.2 (8.2)		10 (7)	84 (78)	8 (11)

注) 透明度、pH、クロロフィルaの欄の橙色は赤潮の基準に、溶存酸素量の欄の青色は貧酸素水の基準に達していることを示しています。